

米の超低コスト生産に向けた取組が始まりました！

経営面積が15ha以上の大規模農家における米60キログラム当たりの生産費は、令和2年度産の統計数値によると12,455円となっています※。肥料を始めとする農業資材や燃料の価格は高騰しており、生産費用は今後増加すると考えられます。

このような情勢の中、水稻のV溝直播栽培において60キログラム当たりの生産コストを約9,600円に抑えることを目標に「愛知県米トータル生産コスト低減対策協議会（以下、「協議会」という）」が結成されました。本協議会には、稲作農家のほか、経営コンサルタント、会計士、JA、市、県（農業総合試験場及び農業改良普及課）が参画します。

協議会では、ICT技術を用いた適期施肥・適期防除や、水位センサーの活用による水管理作業時間の削減などにより、労働時間削減と単収向上に取り組めます。海部管内からは2戸が実証農家として参画しており、「コシヒカリ」と「あいちのかおりSBL」について、衛星画像を活用した生育診断情報に基づきドローンで追肥作業を行いました。7月下旬に行った「あいちのかおりSBL」の追肥作業では、12圃場（合計約1.5ha）の作業時間が2時間を切り、実証農家はドローンの散布スピードの速さを実感していました。

※農林水産省農業経営統計調査令和2年度産米生産費統計(個別経営)から作付面積別生産費(東海地域)



ドローンによる追肥



実証農家と普及課職員による打合せ

海部地域は鉢花の新品種育成が盛んです

愛知県は1962年から現在まで花きの産出額が日本一です。県内の花き産出額の割合は切花65%、鉢物・花壇苗35%となっています。しかし海部地域ではその割合が逆転しており、鉢物・花壇苗の占める割合が65%と高いのが特徴です。

海部地域の鉢物経営者は、オリジナル品種を持ち優位販売しようという意識が高く、栄養繁殖中の枝がわりを見つけて選抜・育成し、積極的に品種登録をしています。令和元年から令和3年までの3年間に、ミニバラ、ハイビスカス、ライスフラワー、クルクマ、ポインセチア、ゼラニウム、ベゴニア類、ポトスで合計21件の品種登録出願が行われました。今年度は8月までにミニバラ、エラチオールベゴニア、ゼラニウムの3件を行い、さらに年度内に4件の品種登録出願を予定しています。農業改良普及課では、今後も生産者の品種登録を支援、助言していきます。



品種登録出願中の鉢物

〈飼料高騰対策に向けて・・・デントコーン栽培面積が増加〉

世界的な需給逼迫や記録的な円安による飼料価格高騰の影響を受け、国産飼料生産へ注目が集まる中、海部地域でもデントコーン栽培面積が増加しています。

弥富市の稲作経営体では、春播きほ場9haを栽培しましたが、これに加え夏播きほ場31haを追加して、合計40haで栽培して県内酪農家への供給と収益向上に取り組んでいます。1作目の結果を踏まえ、湿害対策の暗渠を設置して生産量向上を目指しています。一方、愛西市の酪農家は飼料費の抑制を行うため、デントコーン栽培を再開し9haで栽培を行っています。農業改良普及課では、国産飼料生産の定着を支援していきます。



デントコーンの栽培ほ場



デントコーンの給与準備

海部地域農業者セミナーのご案内

農業改良普及課では、農業者向けのセミナーを下記のとおり開催します。ぜひ、ご参加ください。

対象者	女性農業者、青年農者、SNS活用に興味のある農業者
内容	日時：令和4年11月8日(火) 午後1時30分から 場所：JAあいち海部北部営農センター2階研修室 テーマ：SNS活用 はじめの一步セミナー
申込み先	農業改良普及課 0567-55-7611 または Fax 0567-25-8943 まで